

一月十八日
第二十八回
委員會
會議
門分科會
置提議
會設置決

專門分科
會設置決
定

東支鐵道
ニ對スル
支那政府
ノ態度ニ
關スル情
報

第二章 東支鐵道ニ關スル問題

第一節 序 說

(一) 東支鐵道問題上議

一月十八日極東問題總委員會第二十回會議ニ於テ門戶開放ニ關スル討議アリタル後「ヒューズ」議長ハ米國議題試案ノ順序ニ依リ東支鐵道問題ニ移ルヘキ旨ヲ宣シタル上「東支鐵道問題ニ付テハ多ク其ノ歴史ヲ敘說スルノ要ナク問題ハ同鐵道ノ管理及經營ニ關スル經濟問題ナルモ米國政府トシテハ同鐵道ノ各國商工業ニ對スル一大幹線トシテ經營セラレンコトヲ希望スルヨリ外他意ナシ但シ問題ハ主トシテ支那及露西亞ニ關係シ從テ同問題審議ニ當リテハ從來ノ行懸リ並現狀ニ關スル詳細ナル事實ヲ基礎トシ同地方ノ實情ニ適應スル解決ヲ計ル必要アルヲ以テ各國個々ニ其ノ專門家ヲシテ分科委員會ヲ組織セシメ之ヲシテ具體的ノ意見ヲ交換セシムルコト然ルヘシ」ト提議シタリ之ニ對シ埴原全權ハ東支鐵道ニ付テハ本會議出席ノ九ヶ國全部利害ヲ有スルニ非サル可キヲ指摘シタルニ「ヒューズ」氏ハ利害ヲ有セサル國ト雖或ハ有要ノ提言ヲ爲シ得ヘキカ故ニ本會議參加國タル以上之ニ發言ノ機會ヲ與ヘムトスル趣旨ナル旨ヲ答ヘタルカ分科委員會設置ニ關スル其ノ提議ハ異議ナク採用セラレ各國夫々專門家ヲ任命スルニ決定セリ

(二) 支那政府ノ東支鐵道回收商議問題

尙本問題ニ關スル支那政府ノ對策如何ハ其ノ解決ニ極メテ重大ナル關係アルヲ以テ關係諸國ハ種々考案中ノ處一月十八日米國々務省露西亞局長「ブール」氏ハ松平事務總長ニ對シ極祕ノ情報トシテ最近支那政府ハ莫斯科及齊多側トノ間ニ東支鐵道回收ニ關シ隱密裡ニ協議ノ歩ヲ進メツツアル趣ニシテ現ニ過般齊多政府外相ハ「カルドウエル」氏（元神戶及浦潮駐

在米國總領事ニシテ當時齊多方面視察中ノ者）ニ對シ右露支間ニ於ケル内議進行中ノ事實ヲ洩ラシタル上右様ノ次第ナルヲ以テ米國政府ハ華府會議ニ於テ本問題ヲ討議スルコトヲ見合セ露支間内議ノ進展ヲ俟チ其ノ決定セル所ニ付贊否ヲ決スル方然ルヘシトノ所見ヲ述ヘタルヤノ趣ナルヲ以テ米國政府ハ在支同國公使ニ對シ右露支間ノ商議ニシテ果シテ事實ナリトセハ甚タ不都合ナルニ付可然支那政府ノ注意ヲ喚起シ置ク様電訓セル旨ヲ内話シタリ

第二節 東支鐵道ノ地位ニ關スル論議

(一) 米國側陳述

專門分科
委員會
陳述

右ノ結果東支鐵道專門分科委員會設置セラレタルカ各國委員次ノ如シ

米國	「ブール」氏
英國	「ラムブソン」氏
佛國	「カムヌラー」氏
日本	松平氏
伊國	「バグリアノ」氏
白國	「デュ、ワルゼー」氏
蘭國	「デュ、カー、タンゼリノ」氏
葡國	「ヴァスコンセロス」氏
支那	嚴鶴齡氏

一月十九
日第一回
專門分科
會

米國側陳
述書

一月十九日午後專門分科會第一回會議ヲ汎米會館ニ開キ議長「ブール」氏ヨリ本委員會設立ニ至レル事情ヲ略述シタル後本委員會ハ極東問題總委員會ノ委託ニ依リ東支鐵道ノ財政並ニ其ノ管理ノ形式及效能ニ關スル問題ヲ審議シ之ヲ同總委員會ニ報告スルヲ目的トスルモノナルヲ告ケ且ツ東支鐵道問題詳細ノ討議ニ入ルニ先チ本委員會ノ審議ヲ容易ナラシムルカ爲メ同鐵道一般情勢ニ關シ陳述書ヲ作製セルモ之ニ依リ會議ヲ指導セントスル意思ナシトテ左記陳述書ヲ各委員ニ配布シタリ

The Chinese Eastern Railway being an indispensable factor in the economic development of Siberia, as